

第1378回 例会 (平成27年12月4日)

本日のプログラム 「ロータリー四方山話」 山本 雅夫会員

前例会の記録 (第1377回 平成27年11月28日)

- ・会員数 40名
- ・出席者 34名 ・出席率 85・00%
- ・欠席者 6名 恵谷 大島俊 岡原 越智 小川 福嶋の諸君
- ・11月13日メーキャップ後の出席率 70・00%→87・50%に補正
11月1日スナッグゴルフ大会参加、江原和之、吉岡孝恭、小川隆則、佐藤林平の諸君
10月30日定例理事会参加、田淵純雄、山本雅夫会員
11月12日、岡山東RCへ恵谷龍二会員
- ・ゲスト 岡本 裕也様 (笠岡市政策部長) ・ビジター 堀泰典様・山本国春様 (笠岡RC)
- ・会長報告 本日は、国際ロータリー創立110年と278日に当たり、笠岡東ロータリークラブは創立28年と347日に当たります。

先週は、職場例会と言う事で、池田孝会員のお世話によりまして、中国クリーナー工業様へ訪問させて頂きました。その節は、池田会員ありがとうございました。それから嬉しいニュースです。

福山市民病院へ入院されておられた光井会員が、本日より例会に出席されておられます。本当に早いご回復で、光井会員の若さをまたまた見せ付けられた様な感じですが、ご退院、誠におめでとうございます。11月26日、狩屋会員シングル昇進&瀬戸内海ゴルフ理事長杯2年連続優勝お祝コンペが、瀬戸内海ゴルフクラブにおいて開催され、当クラブより10名の方が参加されました。

高田慎也会員に、ロータリー米山記念奨学会より、とても立派な、米山特別功労法人感謝状が参っております。早速贈呈したいと思います。

・幹事報告 2016～17年度奨学生募集についてのお願いと、それについての募集要項を頂いております。

ロータリーレートのお知らせです。12月は1ドル120円です。2015年7月～12月までのご寄付の確定申告用の領収書は、来年1月下旬頃クラブ宛にご送付させて頂きますとの事です。

近隣クラブの例会変更のお知らせを、倉敷東 玉島の2RCより頂いております。

近隣クラブ週報を、笠岡RCより頂いております。

笠岡市竹喬美術館より、「上島鳳山と大阪の画家たち」展のご案内を頂いております。

・委員会報告 親睦活動委員会よりクリスマス食事会のご案内。

・配布 週報 ・食事 焼き魚定食

◎スマイル

中務祺九大君 光井先生ご退院おめでとうございます。

長鋪方隆君 岡本笠岡市政策部長、今日は卓話ありがとうございます。光井先生ご退院おめでとうございます。ご無理なさらぬように。

岡辺賢二君 光井先生ご退院おめでとうございます。お元気な顔を拝見してハッピーな気持ちでいっぱいです。

大嶋元義君 岡本政策部長お世話になります。

光井 伸君 手術入院中皆様よりお見舞等頂き有難うございました。無事退院出来また皆様とロータリー活動を致します。よろしくお願ひ致します。

高田慎也君 立派な感謝状ありがとうございました。光井先生退院おめでとうございます。4クラブゴルフコンペ頑張ってください。

工藤一郎君 光井先生ご退院おめでとうございます。またゴルフ教えて下さい。

奥野千秋君 光井先生おめでとうございます。狩屋君シングル昇進コンペで準優勝致しました。

新井善久君 光井先生ご退院おめでとうございます。本日遅刻しました。

鈴木絃一・松田重雄君 光井先生ご退院おめでとうございます。

池田周二君 光井先生ご退院おめでとうございます。狩屋さんの記念ゴルフコンペで第3位。

狩屋幸治君 シングルお祝いをして頂き有難うございました。

三宅達夫君 光井先生ご退院おめでとうございます。狩屋さんシングル昇進おめでとうございます。

佐藤林平君 光井会員のご回復を祝して!

中新 隆君 週報のプログラム紹介で地方創世(誤)生(正)でした。卓話宜しくお願ひ致します。

江原和之君 連続でお休みしました。今回も早退します。よろしく。

北殿真一君 バッジを忘れました。 椋梨孝章君 早退致します。

スマイル 27,000円

●プログラム 「地方創生について」ゲスト：岡本裕也様 (笠岡市政策部長)

日本の人口は、2008年をピークに減少に転じ、2060年には8,674万人となる見込です。日本では、第一次産業は「飽食の時代」、第二次産業は「モノあまりの時代」、第三次産業は「サービス過多の時代」といわれ、公共設備、ICT等のインフラやモノに満たされた「成熟社会」にあると考えられます。このような中での「地方創生」の考え方をお話します。

成熟社会にある日本では、終身雇用、年功賃金制の崩壊などにより国民のライフスタイルが多様化し、大量生産・大量消費よりも、生活や活動の質をいかに向上させていくかという考えに変化しつつあります。また、都市部を中心とした団塊の世代の動きや国民の意識の変化(「ものの豊かさ」から「心の豊かさ」へ)により、地方回帰の動きが強まっています。

産業革命からの高度経済成長期を終えて日本よりも先に成熟社会に入った欧州の例を見ると、1980年代から田舎でのスローライフ、スローフード、空間の質を重視した都市計画・農村計画の広がり、市民によるボトムアップ事業が推進されてきました。

人口が減少しても何ら問題ないという人もいますが、急激な人口減少は様々な問題を引き起こします。例えば、①地元企業は人材が確保できず、一層効率的な経営が必要となり、遊休施設が拡大するおそれや、②消費者・消費量が減少し、地域経済に影響を与えるおそれ、③過疎化・高齢化と相まって集落機能が低下したり、公共サービスの提供に困難が生じること、④既設インフラ維持・管理が困難化することなどです。

— 別紙へつづく —

次週以降のプログラム&行事予定

12/6(日) 4クラブゴルフ大会 8:10スタート 笠岡カントリークラブ

12/11(金) ゲスト卓話 「献血の現状とその必要性について」 赤十字血液センターより

12/13(日) 次期クラブR-財団委員長研修会 12:30~受付 米子全日空ホテル

12/18(金) 例会変更 20日(日)に

12/20(日) クリスマス食事会 ベルジュ都にて 18:00~20:00